
吉川直人准教授略歴

- 1951年（昭和26年）2月17日 誕生
- 1969年（昭和44年）3月 徳島県立城南高等学校卒業
- 1970年（昭和45年）4月 京都大学法学部入学
- 1975年（昭和50年）3月 京都大学法学部卒業
- 1975年（昭和50年）4月 京都大学大学院法学研究科修士課程入学
- 1977年（昭和52年）3月 京都大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）
- 1977年（昭和52年）4月 京都大学大学院法学研究科博士課程進学
- 1980年（昭和55年）3月 京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
- 1980年（昭和55年）4月 京都大学法学部助手
- 1981年（昭和56年）3月 京都大学法学部助手 退職
- 1981年（昭和56年）4月 大阪経済大学 非常勤講師
- 1984年（昭和59年）4月 神戸学院大学法学部 講師
- 1987年（昭和62年）4月 神戸学院大学法学部 助教授
- 2007年（平成19年）4月 神戸学院大学法学部 准教授
- 2016年（平成28年）12月7日 逝去

吉川直人准教授著作目録

- 「シュタイン (Freiherr vom Stein) の改革理念と伝統観念への依拠
(一)・(二・完) ——一九世紀初頭プロイセン国制改革の精神について」法学論叢114巻1号 (1983年), 114巻3号 (1983年)
- 「法と文化——西洋と日本」神戸学院法学ガイダンス特集号4訂版 (1986年)
- 「プロイセンの法と国家」上山安敏 [編] 『近代ヨーロッパ法社会史』
(ミネルヴァ書房, 1987年)
- 「技術発展と『生命倫理』の在りか——精神と身体の間——」『歴史と社会 第8巻』(リプロポート, 1988年)
- (翻訳) マンフレート・ハーダー「相続人責任の要点」河上倫逸/マン
フレート・ハーダー編『ドイツ法律学の歴史的現在』(ミネルヴァ書
房, 1988年)
- 「『国家』を考える——東欧の最近の事態を契機として——」石田喜久夫
/村井正/河上倫逸編『国際比較法制研究I』(ミネルヴァ書房, 1990
年)
- 「JR 神戸駅前——阪神大震災と市場経済」あうろーら1号 (1995年)
- 「台湾のアンビヴァレントな日本観」あうろーら2号 (1996年)
- 「法律が破綻するとき——巨大災害と社会崩壊と法」河上倫逸編『ゆら
ぎの法律学——規範の基層とそのダイナミズム』(風行社, 1997年)
(河上倫逸と共著)
- 「香港返還の法的問題——市民社会は政治国家を超えるか——」あう
ろーら10号 (1998年)
- 「ヨーロッパにおける刑事訴追制度の展開とキリスト教——西欧社会の
正統と異端の系譜 (1)」神戸学院法学37巻3・4号 (2008年)